

調 書 （ 1 ）

(様式2)

「職種名（1）（2）」欄には、要綱別表に定める職種名を記入

令和7年12月1日 現在

推薦団体名等		職業部門		職種名（1）	職種名（2）	氏名・現就業先事業所名の外字				
〇〇〇〇組合		9		大工	建築大工	例：草冠は「十十」のように離れた字				
ふりがな	ちば たろう	性別	男	職歴		在職期間（年月日）		在職年月数		
氏名	千葉 太郎					S60. 4. 1	～	H2. 3. 31	5年0月	
生年月日	昭和40年6月15日	年齢	60			(株) ◇◇建設	H2. 4. 1	～	H20. 3. 31	18年0月
最終学歴	(昭和〇年3月18日卒業)					(株) ◇◇建設 課長	H20. 4. 1	～	H26. 6. 30	6年2月
現住所	〒 千葉県 TEL					〇〇工務店 代表 として現在に至る	H26. 7. 1	～	R7. 12. 1	11年5月
就業地	事業所名	〇〇工務店			役職がある場合は、役職も記入	令和7年12月1日現在で記入	～			
	〒						～			
	所在地	千葉県					～			
	TEL						～			
事業所全体の従業員数		〇〇 人		現職については、令和7年12月1日をもって終期とすること。						
表彰歴	表彰の種類	表彰の概要				受賞年月日				
	知事・市長・行政機関表彰	県優秀技能者表彰：〇〇に係る技能について表彰				平成〇年〇月				
	業界団体表彰	県職業能力開発協会会長表彰：技能検定の推進について表彰				平成〇年〇月				
	大臣表彰	技能競技全国大会〇〇大臣表彰				令和〇年〇月				
免許・資格等	免許の種類	免許・資格等の概要				取得年月				
	職業訓練指導員免許	建築科	・「表彰歴」「免許・資格等」「大会入賞歴等」「技能検定」に記載した賞状・免許証・資格証・合格証書等の写しを必ず添付してください。（紛失した場合は記載しないこと） ・欄内に記載しきれない場合は任意様式にてご提出ください。							
	技能検定委員	〇〇県技能検定員（建築）								
	特許・実用新案等	特許123456「〇〇用〇〇装置の考案」								
大会入賞歴等		認定年度	職種		技能検定	等級	技能士の名称	取得年月		
	高度熟練技能者					一級	建築大工技能士	平成〇年〇月		
	ものづくりマイスター		〇〇職種							
	全技連マイスター									
		開催回	参加職種	順位						
	技能グランプリ									
	技能五輪国際大会入賞歴									
	技能五輪全国大会入賞歴	〇回	建築職種	1位						

調 書（２）

（様式２）

推薦団体名等		職業部門	職種名（１）	職種名（２）	ふりがな	ちば たろう
〇〇〇〇組合		9	大工	建築大工	氏名	千葉 太郎
勤務事業所の概要		推薦者及び推薦理由	所在地又は住所	推薦者は推薦する団体・事業所の責任者（会長等）を記入 担当者は表彰に係る事務担当者を記入		
事業所の業務概要と被推薦者の業務における事業所での位置づけ等を記入（別紙可）			推薦者氏名			
事業所が加入する全県団体			担当者氏名			
●●●●●●●●（加入事業所〇団体）			電話			
団体歴			メールアドレス	項目立てて記入すると分かりやすい		
在職期間	団体名・職名	推薦理由				
自昭〇年〇月〇日 至平〇年〇月〇日	千葉県〇〇組合 理事					
自昭〇年〇月〇日 至平〇年〇月〇日	東千葉〇〇連合会 会長					
卓越した技能の概要						
技能の概要	功績・貢献の概要	後進指導育成の概要		現役性		
〇〇工法による住宅建築に長年従事して培った知識と技能を有しており、特に下記の技能に優れている。 1 ・被推薦者の有する技能について、従事する職種、技能の水準、範囲、特徴又は他の技能者との比較等の観点から卓越した技能を有するものであることが判定できるように、特に技能の質的な面を中心に記入すること ・可能な限り具体的な数値を用いて記入（例）「非常に優れている」 どの点がどのように優れているのか、エビデンス（数値等）、工夫箇所等分かりやすく記入する。 （例）「短時間で加工できる」 「通常３時間かかる加工を１時間でできる」等の表現とする。 （例）「精度が向上した」 「標準公差±〇μmが±△μmに向上した」等の表現とする。	1 〇〇における技能伝承 〇〇を得意とし、〇〇のに高い評価を得ている。また、これまで培った規矩術に深く精通しており、その技能は数々の木造建築に発揮されている。 関連する他の資料と合わせて、その者が当該技能をもって製作又は建造等したもので、技能の程度の判断に資するとともに、企業、産業界、社会に対する貢献度等において高く評価されるような代表的な事績を具体的に記入すること	1 技能五輪大会出場者の指導を通じて、これまでに１０人を全国大会に出場させた。大会では１位入賞〇名の成績を果たした。 2 技能検定委員として、〇年から検定（建築大工）の運営に貢献し、現在も主任技能検定委員として活躍している。 被推薦者が後進の指導育成に当たった内容、方法、対象、範囲等について具体的に記入すること	技能五輪選手の指導員として、後進技能者の指導育成を行いながら、自らも〇〇作業を行い、〇〇に日々従事している。 現在、従事している業務内容は、次のとおりである。 現在従事している業務内容とその内訳は次のとおりである。就業時間〇時間 1. 課題の検討及び仕様書類の作製（〇時間） 2. 指導方法、訓練内容の検討及び改善（〇時間） 3. 職場内の巡視、指導員や選手への指導・教育（〇時間） 被推薦者が現役の技能者であるか確認するため、その者の有する技能に関連した職種における１日の平均就業時間又は当該技能に関連のある職種に専ら就業しているか否か等を具体的に記入すること			

調 書（３）

（様式２）

推薦団体名等	職業部門	職種名（１）	職種名（２）	ふりがな	ちば たろう
〇〇〇〇組合	9	大工	建築大工	氏名	千葉 太郎
卓越した技能の概要（続き）					
技能の概要	功績・貢献の概要		後進指導育成の概要		現役性
調書（２）に書き切れない場合はこちらに記入					

調 書（４）

(様式 2)

推薦団体名等	職業部門	職種名（１）	職種名（２）	ふりがな	ちば たろう
〇〇〇〇組合	9	大工	建築大工	氏名	千葉 太郎
今回の被推薦者と過去の被推薦者との違いを簡潔に記載してください					
過去 5 年間に同推薦者から推薦した者がいない場合は、「該当者なし」と記載					
年度	被推薦者名	技能の概要			
令和 6 年度		技能を簡潔に記載 【注】今回の被推薦者との違いが分かるように記載してください			
令和 5 年度					
令和 4 年度					
令和 3 年度					
令和 2 年度					